

7/16 朝

30地点 PFAAS 指針超え

沖縄県は14日、人体への有害性が指摘される有機フッ素化合物PFAAS(ペーファス)について県内の米軍基地周辺で実施している調査で2022年度冬季の結果を公表しました。調査した44地域のうち約7割となる30地点で、PFOS(ペーフォス)とPFEOA(ペーフオア)の合計値が国暫定指針値(1 ppm)を超過しました。

沖縄米軍基地周辺

県が調査 最大36倍

ンブ瑞慶賀(北谷町など)、

キャンプ・マクトリアス(糸満市)、キャンプ・ハ

ンセン(金武町など)周辺の河川や湧水などで実施し

ました。

全地点の最大濃度は、嘉手納町の「屋敷ウアガー」

での1 ppm当たり1,800ナ

ダで、指針値の36倍が検出されました。

22年度冬季調査は、普天間基地周辺では20地

域中11地点で、嘉手納基地

周辺では13地中12地点で

指針値を超過しました。

県は、西嘉手納周辺でのP

FAS汚染について西嘉手

が「汚染源である嘉手納(が

いぜと)性が高」とし、

国や米軍に立ち入り調査を

国による原因究明などを求

めていよいよしていきます。

また県は、PFAASに關

し、来月から全員的な水質

と土壤調査を実施する方針

です。